

ひよし川柳会

年金は貰えぬ人が無いように

男武志津江

柚子風呂に首までつかる年金日

若宮 賢敬

白髪染め心はいつも青い春

伊勢本 恵

心まで緑に染まる春の風

米子 達雄

父の諫言染みついてた筈つい忘れ

宇津本アヤ子

路線バス五分の遅れ赦す客

宮川 柳酔

五線紙に喜怒哀楽を躍らせる

山本 雅之

五月晴れにさそわれ新茶摘んでみる

川添 忠昭

スタートはいつもドキドキ胸がなる

水野すみこ

まだ生きる今日もスタート夢がある

熊本 忠真

スタートへ夢ふくらますランドセル

渡辺 光男

プレッシャーを楽しみ乍らやる度胸

渡辺 照子

滴りや手製の杓のそえてあり

大川 眺春

金色の口揃ひたる燕の子

毛利 敦

連休を一族総出の茶摘みかな

小西 あや

花樽少し休まん此の影に

梶原 一美

初夏の浜Tシャツアート風に舞ふ

松岡 寛孝

麦秋や想ひ出遠し風の辺に

伊藤 京

峡の家縁の中に沈みたり

井谷 けい

母の日や贈る母なく父もなく

福本 恵子

膝に来るとんぼら兄の一周忌

浜田 千鶴

封書切る鉄の音や若葉風

長田 徳子

一面の水田鏡や雲浮かぶ

藤田 光子

早五月背に馴染みしランドセル

高田 弘子

鬼北の足跡を辿る…【鬼北の霊山第2回】

鬼北の霊山 「奈良山」

5月3日、「山岳信仰遺跡めぐりトレッキングく奈良山のシャクナゲを見よう」と題したイベントを行いました。先月の広報でも紹介しましたので、ご覧になった方もおられると思います。鬼が城や郭公岳の山頂に、シャクナゲの群落があることをご存知の方は多いと思いますが、シャクナゲが霊山・山岳信仰と深く結びついた植物であることをご存知の方は少ないのではないのでしょうか。

や神霊の使いである動物の棲む場所でもあり、山中で修行をする修行僧や修験道は、そうした邪鬼・邪霊を打ち払う神通力を体得することを目指し、修行に励んだのです。

シャクナゲ(石楠花)は、ツツジ科の植物で、日本では東北地方から九州まで広く分布していますが、いくつか種類があり、紀伊半島以西の産地や高山にはツクシシャクナゲおよびその変種が主に見られるそうです。

修験者の年中行事に峰入り行があり、旧暦四月八日「春の峰」というものがあります。このとき修験者は山岳登拝し、山上の神様の木シャクナゲの花を手折って下山し、仏に供えます。また、シャクナゲを伐る行為を厳禁とし、群落を大切に護ってきました。霊峰霊山とされる多くの山に特徴的にシャクナゲ群落がみられるのは、修験者らのこうした活動によって、必然的に遺されてきたものなのです。



奈良山(鬼が城山系)に咲くシャクナゲの花

愛媛若葉ひろみ句会